



2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

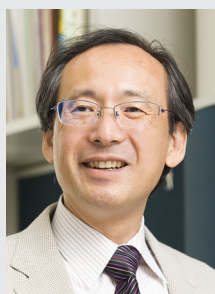
2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年末に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智慧と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第1回

ライフサイクルカーボンマイナス・ウェルネス建築への挑戦 ～学校、庁舎、介護施設の木造化・木質化の効果検証から～

2021年11月11日(木) 18:00-20:00

第1期セミナー(7～8月)では、住宅を中心とするCO₂排出量削減の取り組みをテーマとして、省エネと創エネに注目し、脱炭素化へ向かう姿勢を諸先生に伺いました。第2期セミナーでは、既に空気中に排出されてしまったCO₂の吸収・固定に大きく寄与する「木材利用促進」をテーマとして、複数の視点からのお話を伺います。第1期セミナーでは、運用時CO₂排出量の話題が中心でしたが、今期セミナーでは「LCA(ライフサイクルアセスメント)」の話題が中心になります。製造時にCO₂排出量の多いセメントを用いる建築に対して、木造・木質建築が注目される理由を「LCA」により、実在する建築の検証例でご紹介頂き、脱炭素化に向けて欠かせない「LCA」についての理解を深めます。



伊香賀俊治 Toshiharu Ikaga 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授

1959年 東京都生まれ
1981年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1983年 同大学院修了
1983-98年 (株)日建設計 設備部員、設備設計主管
1998-00年 東京大学 助教授
2000-05年 (株)日建設計 環境計画室長
2006年 慶應義塾大学理工学部 教授

＜役職＞日本建築学会副会長、日本学術会議連携会員、日本サステナブル建築協会LCCM住宅・建築物研究開発委員会副委員長、日本建築学会地球環境委員会委員長・同LCA指針検討小委員会主査、日本LCA学会副会長、国交省・経産省・環境省・文科省・厚労省・林野庁・東京都・神奈川県・鳥取県・横浜市・板橋区の各種委員を歴任。
＜著書＞「最高の環境建築をつくる方法」「LCCM住宅の設計手法」「すこやかに住もう、すこやかに生きる、ゆずはら健康長寿の里づくりプロジェクト」など

会場：オンライン／ZOOM Webinar
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参加費：無料(複数名同室視聴可)
CPD：CPD認定プログラム(2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpxckmEA>

※第1期(7～8月)のお申込者も、新規に第2期のお申込が必要です。
どなたも1回お申込いただくと、第2期の全回に有効です。

＜注意事項＞・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

＜接続＞当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード



＜第1期セミナー概要＞

- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
- ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏

＜第1期セミナー動画公開URL＞

<http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>



The Japan Institute of Architects
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画：JIA四国支部＋JIA環境会議

＜問い合わせ先＞ 公益社団法人 日本建築家協会 本部事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F
E-Mail：cns@jia.or.jp HP：http://www.jia.or.jp

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年末に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智慧と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第2回

山と相談する建築のすすめ

「2050年の山の姿」から考える「これから30年の木造・木質建築」

2021年11月25日 (木) 18:00-20:00



腰原幹雄 Mikio Koshihara
東京大学生産技術研究所 教授

東京大学大学院博士課程修了
1994年 構造設計集団<SDG>
2012年 東京大学生産技術研究所・教授
NPO team Timberize 前理事長
日本建築学会賞(業績)、日本構造デザイン賞、
WMF Knoll Modernism Prize、他受賞

脱炭素を目指す方法として「省エネ・再エネ」と「森林吸収」は双壁と考えられます。第1期セミナーでは前者を、第2期セミナーでは後者およびLCA(ライフサイクルアセスメント)を主なテーマとしています。温暖化対策の理論的主流は「省エネ・再エネ」先行の傾向にありましたが、近年「森林吸収」が盛り上がりを見せています。森林吸収・木材利用・建築分野の温室効果ガス対策について体系的に語って頂くことのできる第一人者の2名の先生をお招きしました。



網野禎昭 Yoshiaki Amino
法政大学デザイン工学部 教授

スイス連邦工科大学ローザンヌ校Dr. sc. tech.
1999年 スイス連邦工科大学EPFL-IBOIS助手
2004年 ウィーン工科大学専任教員
2010年 法政大学デザイン工学部・教授
2019-2020年 林政審議会委員
Schweighofer Prize、グッドデザイン・ベスト100、他受賞

森林国の地域の建築家としては、木造建築の構法は、その時々山の状況と切り離して考えることはできません。構造材となる製材、エンジニアードウッド。仕上げや構造に使われる板材、合板、木質加工版などなど。大きくはカーボンニュートラルに寄与するといえる木造建築生産の中で、構法による効果の違いや設計者として気を付けるべきポイント、当面のゴールとされる2050年に山がどうなっているのかを考えることで、参加者の方と共に、これから30年の木造・木質建築のあり方をイメージしつつ幅広い知見を得る機会にしたいと思います。

会 場：オンライン／ZOOM Webinar
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpXckmEA>

※過去の回で申込済みの方は重複の必要はありません。

- <注意事項>
- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
 - ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
 - ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
 - ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

<接 続> 当日17:30~接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



<第1期セミナー概要>

- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
- ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏

<第2期セミナー概要>

- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏

<第1期セミナー動画公開URL>

<http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年末に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智慧と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第3回

多様な再生可能エネルギーの活用 木質バイオマス熱利用で達成するカーボンニュートラル

2021年12月16日 (木) 18:00-20:00



三浦秀一 Shuichi Miura
東北芸術工科大学
建築・環境デザイン学科 教授

1992年3月 早稲田大学大学院博士課程修了、博士(工学)
＜著書＞2021年『研究者が本気で建てたゼロエネルギー住宅』農文協、共著 2013年『木質資源とことん活用読本、薪、チップ、ペレットで燃料、暖房、発電』農文協



武部豊樹 Toyoki Takebe
武部建設株式会社 代表取締役

「民家再生」を通して伝統木構法の素晴らしさと大工の重要性を学ぶ。
一般社団法人JBN・全国工務店協会理事
一般社団法人北海道ビルダーズ協会 代表理事
NPO法人 北の民家の会 常任理事
NPO法人 日本民家再生協会 理事

8月に国から公表された「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」のとりまとめでは、将来における設置義務化も選択肢の一つとしてあらゆる手段を検討し、太陽光発電設備の設置促進の取組を進める方針が示されました。しかし、太陽光発電への注目が高まる一方で、特に地方においては、太陽光発電以外の再生可能エネルギーへの期待度が高まっています。一例として、木質バイオマス燃料は特定の地域ではカーボンニュートラル、再生可能エネルギーとして魅力に溢れています。しかし設計者などから「脱炭素への貢献度の高さが、実態に即して評価されていない」という声が上がっていることが現在の課題となっています。この分野の研究者と現場実務者を講師にお招きし、今後、パブリックコメント等において、国のWEBプログラム計算に現在含まれていない未評価技術の迅速な反映を望むにあたり、学ぶべきことを明らかにし、視聴者の方の意見も広く募りたいと考えます。

会 場：オンライン／ZOOM Webinar
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去の回で申込済みの方は重複の必要はありません。

- <注意事項>
- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
 - ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
 - ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
 - ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させて頂きます。

<接 続> 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



<第1期セミナー概要>

- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
- ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏

<第2期セミナー概要>

- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏
- ・第2回：11/25(木) 講師：腰原幹雄氏、網野禎昭氏

<第1期セミナー動画公開URL>

<http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを2020年秋に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智恵と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第4回

地域ごとのカーボンニュートラルを極める 脱炭素社会に生き続ける技術の伝承や地産地消エネルギー・資材の活用

2022年2月3日 (木) 18:00-20:00



古川保 Tamotsu Furukawa

古川設計室(有) 会長

山と建築職人と地域結ぶ「川尻六工匠」を結成し
地域活動を行っている
1971年 熊本大学 工学部 土木工学科 卒業
1992年 古川設計室(有)設立
2011年 水保エコハウス設計
2020年 建築防災協会 耐震改修優秀建築賞
2021年 くまもと型伝統構法設計指針編集



西方里見 Satomi Nishikata

(有)西方設計 代表取締役

設計チーム木協同組合 代表理事

1951年 秋田県能代市生まれ
1975年 室蘭工業大学建築工学科卒業
1981年 西方設計 開所
2019年 木材利用優良施設コンクール林野長官賞
2016年「エコハウス・アワード」エコハウス大賞
2008年「サステナブル住宅賞」国土交通大臣賞
「JIA環境建築賞」優秀賞

国交省の社会資本整備審議会の建築分科会で法改正に向かって協議が行われ、建築環境部会・建築基準制度部会の合同部会が2021年秋以後3回開催され、年末年始の意見募集の期間を経て、1月に「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策のあり方、建築基準制度のあり方」のとりまとめ公表のスケジュールが組まれました。これらの国の動きを見据えつつ、改めてここで、各地の建築家のお話をじっくり伺う機会が求められています。地域の気候風土、技術の伝承、地産地消のエネルギー・資材活用など地域に根差した設計活動を数十年にわたってじっくり取り組んでこられた建築家のお話のシリーズとなります。熊本の古川保氏と秋田の西方里見氏から「地域」に焦点を当てた脱炭素社会の建築のお話を、住宅および木造建築を中心として伺います。奮ってご参加下さい。(司会：松山将勝JIA九州支部長+進藤勝人JIA東北支部長)

会 場：オンライン／ZOOM Webinar
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去の回で申込済みの方は重複の必要はありません。

<注意事項>・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させて頂きます。

<接 続> 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



<第1期セミナー概要>

- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
- ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏

<第2期セミナー概要>

- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏
- ・第2回：11/25(木) 講師：腰原幹雄氏、網野禎昭氏
- ・第3回：12/16(木) 講師：三浦秀一氏、武部豊樹氏

<セミナー動画公開URL>

<http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>



2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを2020年秋に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智恵と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第5回

急進する海外認証制度における ライフサイクルアセスメント

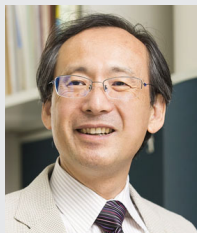
LEED認証で見えてくるUSAの近況とCASBEEを含む日本の展望

2022年3月3日 (木) 18:00-20:00



岡田早代 Sayo Okada

株式会社イズミシステム設計
環境コンサルティング部
Cube Zero 代表
Wenworth Institute of Technology客員教授
Phius バッシブハウストレーナー
マサチューセッツ州建築士
AIA(アメリカ建築家協会)正会員
CPHC(Phius認定バッシブハウスコンサルタント)



伊香賀俊治 Toshiharu Ikaga

慶應義塾大学理工学部
システムデザイン工学科 教授
早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了、
(株)日建設計 設備設計主管、
東京大学助教授、
(株)日建設計 環境計画室長を経て現職。
日本建築学会副会長、日本LCA学会副会長、
日本建築学会LCA指針検討小委員会主査、
CASBEE研究開発委員会委員長を歴任

前回の当セミナーでは「地域ごとのカーボンニュートラルを極める／脱炭素社会を生き続ける技術の伝承や地産地消 エネルギー・資材の活用」という主題で、JIA会員の古川保氏(熊本県)と西方里見氏(秋田県)のお話を伺いました。この回で改めて課題として浮彫りになったのは、LCA(ライフサイクルアセスメント)の実践・普及の加速への期待でした。LCAについては今後も複数の機会を設けて採り上げたいテーマとなります。今回はAIA(アメリカ建築家協会)正会員として約20年USAでの設計実務に従事されてきた岡田早代氏からLEED認証や実務でのエンボディドカーボンに重点を置いたLCA分析の利用や考え方のお話を伺います。その後、対談形式により、CASBEEや日本建築学会におけるLCA研究の現況を踏まえ、伊香賀俊治氏に我が国のLCAの展望についてのお話を伺います。

奮ってご参加下さい。

(司会：宮崎淳JIA関東甲信越支部・環境委員会委員長)

会 場：オンライン／ZOOM Webinar
定 員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参 加 費：無料(複数名同室視聴可)
C P D：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去の前で申込済みの方は重複の必要はありません。

- <注意事項>
- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
 - ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
 - ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
 - ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させて頂きます。

<接 続> 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



- ◆第1期セミナー
- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
 - ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
 - ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
 - ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
 - ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
 - ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏
- ◆第2期セミナー
- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏
 - ・第2回：11/25(木) 講師：藤原幹雄氏・網野禎昭氏
 - ・第3回：12/16(木) 講師：三浦秀一氏・武部豊樹氏
 - ・第4回：2/ 3(木) 講師：古川保氏・西方里見氏
- ◆セミナー動画URL <http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>



The Japan Institute of Architects
公益社団法人 日本建築家協会

主催：公益社団法人 日本建築家協会／企画：カーボン・ニュートラル特別委員会

公益社団法人日本建築家協会 本部事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F
E-Mail：cns@jia.or.jp HP：http://www.jia.or.jp

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを2020年秋に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智恵と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第6回

豊かで持続可能な社会をかたちにする 新たな地域・建築の創造へ求められること

2022年4月14日 (木) 18:00-20:00

本セミナーの第1期は「住宅の脱炭素化に向けての省エネ・創エネ」、また第2期は「木造建築や多様な再生可能エネルギーの推進、LCAの取組み」を主なテーマとして回を重ねてきました。現在、第3期の企画を進めていますが「まちとカーボンニュートラル」が主要なテーマとなる予定です。4/14の第2期・第6回では、過去11回の流れを踏まえ、第3期へのメッセージとして「地域のカーボンニュートラルを考える建築家の姿勢」についてのお話となります。去る2/4のJIA近畿支部大会セミナー「カーボンニュートラルに向けて／建築家ができることを考える」に登壇された鈴木大隆氏に再登壇をお願いしました。奮ってご参加下さい。(司会：袴田喜夫JIAカーボン・ニュートラル特別委員会委員長)



鈴木大隆 Hirotaka Suzuki 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事

室蘭工業大学工学部建築工学科助手を経て、北海道立寒地住宅都市研究所に入所、北海道立北方建築総合研究所(北総研)、地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部長・北総研所長を経て、現在に至る。現在は農・水・森林・産業・環境地質・建築の6分野、道総研全体の研究マネジメントを担当。国土交通省社会資本整備審議会、経済産業省エネルギー調査会、住宅・建築物省エネルギー基準策定関連委員会などに参加し、長く国の省エネルギー・脱炭素・環境施策等の検討・立案にかかわってきたほか、主に省エネ建材関連JIS原案策定、北海道の民間住宅・エネルギー等の施策検討に参画。2012年から13年の間は国土交通省政策参与を兼務し、持続可能な国土形成の政策立案に従事。311以降、岩手県陸前高田市の東日本大震災からの住宅再建・復興まちづくりに関わっている。

会場：オンライン／ZOOM Webinar
定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
参加費：無料(複数名同室視聴可)
CPD：CPD認定プログラム (2単位)

※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去のおで申込済みの方は重複の必要はありません。

<注意事項> ★ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。

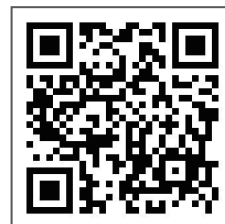
例：山田花子/漢字等日本語

参加者名が不正確な場合、CPD単位が付与できない可能性があります

- ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
- ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
- ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

< 接 続 > 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

申込QRコード▶



- ◆第1期セミナー
- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
 - ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
 - ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
 - ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
 - ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
 - ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏
- ◆第2期セミナー
- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏
 - ・第2回：11/25(木) 講師：腰原幹雄氏、網野禎昭氏
 - ・第3回：12/16(木) 講師：三浦秀一氏、武部豊樹氏
 - ・第4回：2/ 3(木) 講師：古川保氏、西方里見氏
 - ・第5回：3/ 3(木) 講師：岡田早代氏、伊香賀俊治氏
- ◆セミナー動画URL <http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>